

●自分の生活習慣がガンを育てている●



私たちの免疫力が落ちると、体内はガンが育ちやすい環境になっていきます。免疫力が落ちる最大の原因が、ストレスと生活環境。いかにこの2点を減らして免疫力を高めていくかがガンを抑制するポイントになります。

「人間の体内では一日5000個のガン細胞が生まれている」と言われています。ガンに罹患していない人は、体内の免疫がガン細胞の増殖を抑えているため、病気としては現れていないこととなります。ところが免疫力が落ちると、ガン細胞の増殖を抑えることができず、ガンという病気として現れてしまいます。

日本人がガンになる確率は二人に一人と言われていますが、二人に一人は免疫に異常をきたしている、と言つてもできます。コンビニエンスストアやファストフード店が増え、それに比例するように花粉症、潰瘍性大腸炎、クローン病などが増え始めました。これらは免疫過剰による疾患ですが、ガンは免疫不全による疾患で、同じ免疫異常でも正反対の免疫異常と言えます。

コンビニエンスストアやファストフード店で気軽に食べられるものは添加物や防腐剤がたくさん入っていることがあるので、注意が必要です。しかし、これらを私たちの生活から完全に除去することは不可能に近いと言えます。そこで、自分の免疫力を高めることが重要です。免疫力が高い状態であれば、ガン細胞が増殖するのを抑えてくれるのでガンにはならず済みます。

オーストラリアのガン患者さんでも、免疫治療を取り入れて自身の免疫力を高めていけば、一年、三年、五年と寿命を延ばして行くことができています。



●水素ガスで免疫カアップ●

水素ガス。これは自然界どこにもあり、私たちの体内にも存在しています。ガン治療における水素ガスの効果には、主に二つあげられます。

一、四つの活性酸素の中でも、悪玉活性酸素だけを除去する作用

二、ミトコンドリアを活性化し、「免疫抑制」のブレーキを解除する作用

まず一ですが、私たちは呼吸することで体内に酸素を取り入れています。人体が酸素を利用するときに副産物として発生するのが活性酸素です。活性酸素には四種類あり、さらにこれらは、免疫を活性化させて人体に良い影響を与える善玉活性酸素、人体に悪い影響を与えて免疫を低下させる悪玉活性酸素にわかれます。例えば、皮膚にしみやくすみが見れたり、体力が低下したりという老化現象は、悪玉活性酸素が身体を酸化させていくことから生じます。このほか、ガンや糖尿病、肺炎、心筋梗塞、アルツハイマー型認知症など、あらゆる病気の原因とされています。

さらに悪玉活性酸素は、ミトコンドリアのDNAにダメージを与え、私たちが生きるために必要なエネルギーを生み出してくれているミトコンドリアの機能を阻害します。そして全身の細胞の機能低下を引き起こし、特に免疫細胞に重大な障害を与えます。水素ガスはこの悪玉活性酸素だけを除去し、他の善玉活性酸素には影響しないという働きがあります。そのため、免疫を向上する作用において、大きな影響力を持っているといえます。



二については、水素ガスはミトコンドリアを活性化し、結果的に免疫抑制のブレーキを解除する働きがあることがわかっています。これまで、免疫を活性化すればガンを抑制できるという考え方から、とにかく免疫の活性化が重要視されてきました。ところが免疫というのは、活性化するとそれを抑える力が働いてしまうのです。免疫が働かなくなると人体を守れなくなりますが、逆に活性化しすぎると今度は自分で自分の体を攻撃してしまつたため、自動的に免疫抑制がかかるようになっていきます。

ガン治療の場合、ガン抗原に対して免疫反応が起こりますが、それと同程度あるいはそれ以上に免疫抑制がかかった状態になっているため、免疫はガン細胞を攻撃できないのです。そのため免疫機能が十分に働いてガン細胞を攻撃できるよう、免疫抑制を外してあげなくてはなりません。そのための薬がオプジーボですが、効果が働く一方で、この薬には間質性細胞や糖尿病などの副作用が懸念されています。

水素ガスはミトコンドリアを活性化することでPDR1(免疫反応を抑制する分子)の発現を低下させます。免疫が十分な力を発揮してガン細胞を攻撃できるように、免疫抑制を外すというのは、末期ガンの患者に対する治療において、非常に重要なこととなります。水素ガスはオプジーボと同様の働きを、オプジーボの効かない進行ガン・末期ガン患者に対して、副作用なしにできるものとして、大きな可能性を秘めているといえるでしょう。

●なぜオプジーボが効かないのか●

私たち人間が物事を考えたり、会社に行ったり、人と話したりできるのはエネルギーがあるからです。このエネルギーをつくっているのがミトコンドリアなのです。ミトコンドリアは人間はもちろん、動物や植物から菌類まで、全ての生物の全細胞内に存在しています。

ところが加齢によって体内環境が変わったり、食生活や生活習慣の乱れによって悪玉活性酸素が体内に増えたりすると、ミトコンドリアの機能が低下してしまいます。悪玉活性酸素はミトコンドリアのDNAを障害し、ミトコンドリアを機能不全に陥れることが報告されています。そのようなのを防ぐために、日ごとのミトコンドリアを活性化させることが大切なのです。